資料２－１

日向市立東郷病院の在り方に関する報告にて出された課題に対する方向性

１．施設設備の整備	
	現施設は老朽化が進んでおり、耐震性にも課題があることから、施設整備を行うことで患者が安心して受診できる環境整備を図る。
２．救急搬送体制の充実	
	東郷地域においては、二次救急医療機関までの距離が最も遠いことから、救急搬送体制の充実を図るため、無床化への運営形態移行と併せ、東郷分遣所の救急車配備について検討を進める。
３．通院手段の充実	
	今後、高齢化の進展により、病院までの通院手段のない患者も増加することが見込まれることから、診療所への送迎バス配置や既存の乗合バスの運行形態の見直しについて検討を進める。
４．市中心部等の医療機関等との連携強化	
	無床化に伴い、入院が必要となる患者等については、他医療機関へ紹介を行う必要があることから、円滑にそれらのサービスが提供できる体制の構築を図る。
５．災害時の対応力の強化	
	災害時において、医療救護班として迅速かつ適切に関係医療機関等とも連携し、医療救護活動に対応できるよう、災害を想定した訓練や研修等に積極体に参加することで体制の構築を図る。
６．医師確保への貢献	
	次世代の医師育成に努め、将来を見据えた医師確保につなげるため、医学生や研修医等の研修受入先として選択される診療所づくりに取組むとともに、医師の働きやすい環境整備を図る。
７．経営計画等の策定と評価検証	
	持続可能な医療の提供を行うためには、診療所の安定した経営が重要であることから、健全経営に向けた経営計画を策定し、評価・検証に基づいた計画的な経営に努める。
８．日向入郷医療圏の医療提供体制の確保	
	日向入郷医療圏における、救急医療をはじめとした、医療提供体制を維持するためには、圏域全体で一体となった取組が必要であることから、医師や医学生等とのネットワーク構築を図る。